

## Ⅱ 主な事業別の状況

### 1. 上水道事業

#### (1) 施設及び業務概要

決算調査の対象となったのは、27事業（上水道事業26事業、用水供給事業1事業）である。年間総配水量は対前年度比1.3%減の133,355.56千 $\text{m}^3$ であり、現在給水人口は対前年度比1.3%減の1,172,710人となっている。これを行政区域内人口に対する普及率で見ると96.7%、計画給水人口に対する普及率で見ると88.3%となっている。また、有収率は全体で86.0%となっており、規模別にみると、給水人口15万人以上の事業（3事業）が89.3%で最も高くなっている。〔第9表〕

第9表 施設及び業務概要

(単位：人、%)

項 目	規 模 別					
	15万人以上	5万人以上 15万人未満	3万人以上 5万人未満	1.5万人以上 3万人未満	1.5万人未満	合 計
行政区域内人口 (A)	751,634	113,569	88,139	111,380	148,338	1,213,060
計画給水人口 (B)	763,847	124,129	111,060	117,264	211,961	1,328,261
現在給水人口 (C)	734,314	109,575	85,501	100,266	143,054	1,172,710
行政区域内人口に対する普及率(C) / (A)	97.7	96.5	97.0	90.0	96.4	96.7
計画給水人口に対する普及率 (C) / (B)	96.1	88.3	77.0	85.5	67.5	88.3
有 収 率	89.3	83.4	82.9	80.2	78.2	86.0

(注) 用水供給事業を除く。

#### (2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は109.3%で、前年度に比べ3.3ポイント減となっており、収益費用別では総収益が0.2%増、総費用が3.2%増となっている。

単年度収支で、純損失を生じた事業は2事業であった。（前年度1事業）。

累積欠損金は8億8,749万2千円で、前年度から皆増となっている。〔第10表〕

第10表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度 項 目		年 度					増 減 率 (R3/R2)
		H29年度	H30年度	R1 年 度	R2 年 度	R3 年 度	
総 収 益		33,436,856	33,306,761	33,046,629	32,634,657	32,693,079	0.2
うち営業収益(A)		29,363,752	29,114,228	29,044,735	28,395,266	28,557,319	0.6
総 費 用		29,361,513	28,842,236	28,946,932	28,987,259	29,922,335	3.2
純 利 益		4,075,343	4,467,680	4,113,802	3,668,463	3,658,236	△ 0.3
純 損 失 (B)		0	3,155	14,105	21,065	887,492	4,113.1
累 積 欠 損 金 (C)		82,039	79,079	93,184	0	887,492	皆増
不 良 債 務 額 (D)		0	0	0	0	0	-
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	0.0	0.0	0.1	3.1	
	(C) / (A)	0.3	0.3	0.3	0.0	3.1	
	(D) / (A)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
事 業 数 (E)		27	27	27	27	27	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		0	1	1	1	2	100.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		1	1	1	0	2	皆増
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		0	0	0	0	0	-
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		0.0	3.7	3.7	3.7	7.4	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		3.7	3.7	3.7	0.0	7.4	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		113.9	115.5	114.2	112.6	109.3	

(注) うち営業収益(A)は受託工事収益を除く。

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は84億2,503万9千円で、前年度114億3,587万1千円より26.3%減、資本的支出は230億3,479万3千円で、前年度250億2,376万2千円より7.9%減となっている。【第11表】

第11表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R3 / R2)	
		R2 年度	R3 年度		
資本的支出	建設改良費	16,874,990	15,286,750	△ 9.4	
	企業債償還金	7,420,046	7,545,076	1.7	
	その他	728,726	202,967	△ 72.1	
	計	25,023,762	23,034,793	△ 7.9	
財源内訳	内部資金	13,587,891	14,545,654	7.0	
	外部資金	11,435,871	8,425,039	△ 26.3	
	うち	企業債	5,704,400	5,275,300	△ 7.5
		他会計出資金	2,677,234	969,831	△ 63.8
		他会計負担金	82,013	83,735	2.1
		他会計借入金	0	0	-
		他会計補助金	334,365	335,501	0.3
		調整項目	0	0	-
	財源不足額	0	64,100	皆増	
	計	25,023,762	23,034,793	△ 7.9	

※財源不足額については、R3年度同意済企業債の未発行分（64,100千円）をもってR4年度に措置されるものである。

### (4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は298.9%と前年度（311.2%）より12.3ポイント減となっている。【第12表】

第12表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目	流動比率	一時借入金 の 状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
平成29年度		284.0	0	0.0
平成30年度		317.0	0	0.0
令和元年度		315.9	0	0.0
令和2年度		311.2	0	0.0
令和3年度		298.9	50,000	0.2

## 2. 交通事業

### (1) 施設及び業務概要

交通事業は、青森市及び八戸市においてバス事業が行われている。一般乗合分の在籍車両は255両で、前年度から4両減となっている。輸送人員は年間11,026千人となっており、一日当たりで見ると30,209人で、前年度に比べ200人減となっている。〔第13表〕

第13表 経営規模

区 分		年 度				
		H 29 年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度
施 設	営 業 路 線 ( km )	395.7	397.7	396.1	393.0	395.2
	運 転 系 統 路 線 ( 本 )	256	271	254	252	252
	在 籍 車 両 ( 両 )	259	259	259	259	255
	平 均 車 齢 ( 年 )	12.6	11.1	10.4	9.4	9.3
業 務	年 間 走 行 キ ロ ( 千 km )	7,135	7,140	7,084	6,936	6,912
	一 日 走 行 キ ロ ( 千 km )	20	20	19	19	19
	年 間 輸 送 人 員 ( 千 人 )	14,289	14,213	13,598	11,099	11,026
	一 日 輸 送 人 員 ( 人 )	39,148	38,940	37,153	30,409	30,209
	年 間 運 送 収 益 ( 千 円 )	3,058,832	2,867,163	2,764,539	2,433,930	2,489,302
	一 日 運 送 収 益 ( 千 円 )	8,380	7,855	7,553	6,668	6,820

(注) 一般乗合分のみを記載した。

(2) 収益的収支の状況

総収益対総費用比率は、86.8%で前年度（87.8%）に比べ1.0ポイント低くなっている。

不良債務額を有する事業数については、前年度から増減はなく、不良債務額は前年度よりも減少した。〔第14表〕

第14表 収益的収支の状況

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (R3/R2)
		H 29 年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	
項 目							
総 収 益		3,979,762	3,801,317	3,724,856	3,482,425	3,514,894	0.9
う ち 営 業 収 益 (A)		3,107,065	2,915,455	2,817,918	2,488,575	2,541,896	2.1
総 費 用		3,797,816	3,874,100	3,976,801	3,967,780	4,051,370	2.1
純 利 益		181,946	0	0	0	0	-
純 損 失 (B)		0	72,783	251,945	485,355	536,476	10.5
累 積 欠 損 金 (C)		2,038,710	2,098,428	2,233,123	2,682,400	3,218,876	20.0
不 良 債 務 額 (D)		0	49,200	174,658	152,755	143,142	△ 6.3
赤字額 等の営業 収益に 対する 割合	(B) / (A)	0.0	2.5	8.9	19.5	21.1	
	(C) / (A)	65.6	72.0	79.2	107.8	126.6	
	(D) / (A)	0.0	1.7	6.2	6.1	5.6	
事 業 数 (E)		2	2	2	2	2	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 (F)		0	2	2	2	2	0.0
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 (G)		1	1	1	2	2	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 (H)		0	1	1	1	1	0.0
純 損 失 を 生 じ た 事 業 数 の 割 合 (F) / (E)		0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (G) / (E)		50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	
不 良 債 務 を 有 す る 事 業 数 の 割 合 (H) / (E)		0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		104.8	98.1	93.7	87.8	86.8	

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は15億1,833万5千円で前年度9億1,473万5千円より6億360万円（66.0%）増加し、資本的支出については15億7,773万3千円と前年度10億595万6千円より5億7,177万7千円（56.8%）増となっている。〔第15表〕

第15表 資本的収支の状況

（単位：千円、%）

項目	区分 年度	金額		増減率 (R3/R2)	
		R 2 年 度	R 3 年 度		
資本的支出	建設改良費	600,999	1,207,610	100.9	
	企業債償還金	403,961	369,437	△ 8.5	
	その他	996	686	△ 31.1	
	計	1,005,956	1,577,733	56.8	
財源内訳	内部資金	91,484	59,398	△ 35.1	
	外部資金	914,735	1,518,335	66.0	
	うち	建設改良のための企業債	481,700	283,400	△ 41.2
		他会計補助金	361,642	246,944	△ 31.7
		他会計借入金	0	0	-
	財源不足額	0	0	-	
	計	1,006,219	1,577,733	56.8	

### (4) 資金繰りの状況

平成27年度から一時借入金はない。

また、流動比率（流動資産／流動負債）は71.2%で、前年度76.1%より4.9ポイント低くなっている。〔第16表〕

第16表 資金繰りの状況

（単位：千円、%）

年度	項目	流動比率	一時借入金の状況	
			一時借入金	営業収益に対する割合
平成29年度		112.2	0	0.0
平成30年度		109.8	0	0.0
令和元年度		85.6	0	0.0
令和2年度		76.1	0	0.0
令和3年度		71.2	0	0.0

### 3. 病院事業

#### (1) 施設及び業務概要

令和3年度の病院数は23病院であり、その経営主体別の内訳は市が経営する病院が7病院、町が経営する病院が8病院、一部事務組合等が経営する病院が8病院となっている。〔第17表〕

23病院全体での病床数は4,324床(一般病床3,790床、療養病床318床、結核病床0床、精神病床198床、感染症病床18床)であり、病床利用率は65.5%で前年度と同じとなっている。

病床利用率を規模別に比較すると、500床以上の病院及び100床未満の病院では70%以上となっているが、それ以外では70%未満となっている。

延べ患者数については、年間入院延べ患者数103万人、外来延べ患者数185万6千人、合計で288万6千人となっている。〔第18・19表〕

第17表 施設及び概要

区分 病院規模	自治体病院数	経営主体		
		市	町	一部事務組合等
500床以上	1	1	0	0
300床以上500床未満	4	2	0	2
200床以上300床未満	3	3	0	0
100床以上200床未満	5	0	1	3
100床未満	10	1	7	3
計	23	7	8	8

第18表 患者数・病院数の推移

年度 項目	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
入院延患者数(千人)	1,213	1,188	1,154	1,042	1,030
外来延患者数(千人)	2,078	2,030	1,994	1,825	1,856
病床数(床)	4,692	4,410	4,380	4,344	4,324
病床利用率(%)	70.8	71.7	71.5	65.5	65.5
外来・入院比率(%)	171.4	171.0	172.8	175.1	180.2

第19表 病床の利用率

(単位: %)

規模 年度	500床以上	300床以上 500床未満	200床以上 300床未満	100床以上 200床未満	100床未満	計
平成29年度	72.9	78.1	65.3	62.3	73.9	70.8
平成30年度	86.8	72.6	62.3	71.4	65.4	71.7
令和元年度	85.7	72.8	59.0	68.3	73.0	71.5
令和2年度	77.1	64.9	54.0	66.5	68.0	65.5
令和3年度	79.7	65.2	47.2	66.2	71.4	65.5

(2) 収益的収支の状況

単年度収支では23施設中16施設で41億8,013万円の純利益を生じたが、7施設が合わせて3億470万8千円の純損失を生じ、累積欠損金は449億7,494万4千円で、前年度508億6,010万円から58億8,515万6千円(△11.6%)の減となっている。

不良債務額は12億4,693万円で、前年度24億7,139万9千円から12億2,446万9千円(△49.5%)の減となっている。

[第20表]

第20表 経営状況の推移

(単位：千円、%)

年 度		年 度					増 減 率 (R3/R2)
		H 29 年 度	H 30 年 度	R 1 年 度	R 2 年 度	R 3 年 度	
項 目							
総 収 益		93,981,728	94,735,038	95,346,576	100,144,561	101,799,312	1.7
うち 医 業 収 益 (A)		79,918,207	79,822,096	79,570,579	76,403,876	78,937,834	3.3
総 費 用		94,975,231	94,391,614	95,594,609	97,911,323	97,923,890	0.0
純 利 益		2,006,145	2,401,101	1,700,850	2,745,233	4,180,130	52.3
純 損 失 (B)		2,999,648	2,057,677	1,948,883	511,995	304,708	△ 40.5
累 積 欠 損 金 (C)		52,359,666	51,994,147	52,306,763	50,860,100	44,974,944	△ 11.6
不 良 債 務 額 (D)		3,273,058	3,837,953	4,174,525	2,471,399	1,246,930	△ 49.5
赤字額 等の医 業収益 に対する割合	(B) / (A)	3.8	2.6	2.4	0.7	0.4	
	(C) / (A)	65.5	65.1	65.7	66.6	57.0	
	(D) / (A)	4.1	4.8	5.2	3.2	1.6	
施 設 数 (E)		23	23	23	23	23	0.0
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 (F)		14	17	13	11	7	△ 36.4
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 (G)		16	17	16	16	16	0.0
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 (H)		9	11	10	9	6	△ 33.3
純 損 失 を 生 じ た 施 設 数 の 割 合 (F) / (E)		60.9	73.9	56.5	47.8	30.4	
累 積 欠 損 金 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (G) / (E)		70.8	69.6	69.6	69.6	69.6	
不 良 債 務 を 有 す る 施 設 数 の 割 合 (H) / (E)		41.7	39.1	43.5	39.1	26.1	
総 収 益 対 総 費 用 比 率		99.6	99.0	99.7	102.3	104.0	

### (3) 資本的収支の状況

資本的収入（外部資金）は101億3,138万8千円（前年度116億6,015万4千円）で、対前年度比13.1%の減、資本的支出は143億3,231万5千円（前年度148億5,043万4千円）で、対前年度比3.5%の減となっている。財源内訳は、内部資金等補てん財源が前年度より26.0%の増、外部資金は企業債が29.6%の減、他会計出資金等の一般会計繰入金は7.7%の増となっている。〔第21表〕

第21表 資本的収支の状況

(単位：千円、%)

項目	区分 年度	金額		増減率 (R3 / R2)	
		R 2 年 度	R 3 年 度		
資本的支出	建設改良費	7,656,811	6,763,408	△ 11.7	
	企業債償還金	7,099,480	7,459,392	5.1	
	その他	94,143	109,515	16.3	
	計	14,850,434	14,332,315	△ 3.5	
財源内訳	内部資金	3,333,759	4,200,927	26.0	
	外部資金	11,660,154	10,131,388	△ 13.1	
	うち	企業債	5,622,400	3,958,700	△ 29.6
		他会計出資金	1,757,894	1,747,474	△ 0.6
		他会計負担金	2,575,663	2,944,392	14.3
		他会計借入金	0	0	-
		他会計補助金	40,400	18,200	△ 55.0
	調整項目	0	0	-	
	財源不足額	0	0	-	
	計	14,993,913	14,332,315	△ 4.4	

### (4) 資金繰りの状況

流動比率（流動資産／流動負債）は156.1%と前年度（135.2%）より20.9ポイント高くなっている。〔第22表〕

第22表 資金繰りの状況

(単位：千円、%)

年度	項目 流動比率	一時借入金の状況	
		一時借入金	医業収益に対する割合
平成29年度	122.4	10,367,827	13.0
平成30年度	123.6	10,109,164	12.7
令和元年度	123.7	9,908,416	12.5
令和2年度	135.2	9,654,000	12.6
令和3年度	156.1	6,360,000	8.1